

第 47 回 那覇大綱挽運営について ①

1. くうふんなすねーい（旗頭行列）について

平成 29 年 9 月 13 日現在

国際通り	交通規制	11 : 30
	交通止め（旗入出発）	
	規制解除（車両進入）	14 : 00

(1) 交通規制は右の時間帯とする。

※行列総責任者：新垣龍太

副委員長：仲原英太郎 が努めます。

(2) 今回は東が先頭で、東の行列最後尾は壺屋、西の行列最後尾は 久米 です。（タイムスケジュール確認）

(3) 行列委員長は西一番、島田洋之・東一番、高良雅秀。

また行列副委員長は西東の後尾 壺屋は小底英光、と久米は、名嘉原盛政。

(4) 行列隊形は、昨年同様 5 列縦隊とする。

(5) 当日、集合場所への移動で車道を行進する場合は警察の許可が必要の為、該当する地域は早めに各自で申請すること（申請用紙に記入、車順の図面を添付）

(6) 肩章は右肩からかけるよう統一する。

(7) 打楽器は白足袋の替わりに白運動靴を履いてもよい、小旗持ち熱中症予防対策は体育用白い帽子とする。

(8) 太鼓の数は原則として 30 名とし、その前後の増減は認める。

(9) 火砲（爆竹）委員は西 7 名・東 7 名の計 14 名と先導役 1、それ以外の使用は絶対禁止する。

(10) 先導役は国旗、県旗市旗の前の「ドラ・爆竹」役、各 1 名今年先頭の東一番から配置する。

2. <大綱挽について>

(1) 交通規制の時間帯は右のとおり

国道 58 号	交通規制	14 : 30
	交通止め（旗入場）	
	規制解除（車両進入）	19 : 00

（式典は 14 : 45 より）

(2) 大綱の規格・・・雄綱の長さ：100m 雌綱の長さ：100m（全長 200m）

総重量：40 t 直径：1 m 56cm 手綱数：280 本

(3) 綱の装飾・・・県旗・市旗で飾る

(4) 各実行委員から一人(綱方)監視員を充て、綱挽前に綱の切取をさせないように注意する。(特に本体は注意)

(5) 昨年同様、カヌチ貫の際、各実行委員会から 10 名（内カヌチ整理 3 名）づつ動員して下さい。（新突き棒 20 本準備）、六尺棒（大）は本部席前（指揮台の横）にお準備しておきます。カヌチ担当の方はあらかじめ確認しておください。放置すると危険なので、使用後は必ず元の場所に戻してください。（持ち帰る観客が？）

(6) カヌチ棒挿入後、綱あてをして中央を決め安全対策をすること。（昨年同様）

(7) 支度 [西] 南山王 他魯毎（タルミー） [東] 中山王 尚巴志（ショウハシ）

(8) 後尾は支度寄せのスタートや支度見栄後退いて終了の合図は（西東最後尾綱方が黄色を旗振る）

(9) むーちゃんちー(守護旗)持ちは、西東後尾の実行委員会（東：壺屋、西：久米から各 4 名動員をお願いします（守護旗は本部席前で受け取る）。*支度台は、沖縄尚学高校柔道部でかつぎ手をしてもらいますが、各実行委員会綱方は、支度の出入りの順調な通行ができるよう手綱を持たさない等の観衆へ強力な呼びかけをお願いします。

(10) 大綱挽・・・1 回のみ、制限時間 30 分

(11) 勝負規定・・・判定勝ち：2 m 以上

引き分け：2 m 未満

（第 46 回現在勝敗、東の 14 勝 14 負 15 引分）

勝 ち	5 m
判定勝ち	2 m 以上
引き分け	2 m 未満

(13) 安全対策について・・・催事中の事故発生の場合は、直ちに本部に連絡を取る（伝令）また、緊急の場合、サイレンを長音で3 回以上区切って鳴らし合図する。

緊急時については、サイレンと同時に場内アナウンスも行う。

勝負決定した時は、サイレンを1 回鳴らして合図する。（その後、勝敗のアナウンスを行う）

(14) 各実行委員会の備品は…各実行委員会で持ち帰る（但し六尺棒等については本部・指揮台の横に返却）

以上